

# 209.急性心筋梗塞における患者来院から心カテ室入室までの救急外来看護師の行動分析

## 研究の概要

当院では救急外来に検査処置チームが設置されており、救急で来院した急性心筋梗塞患者の初期対応～心臓カテーテル検査・治療の介助までを、日勤帯・夜勤帯関係なく全て救急外来看護師が担っています。2020年4月1日～2021年3月31日までの、急性心筋梗塞患者来院～心カテ室入室までにかかった時間を調査したところ、中央値30分という結果になりました。この所要時間は、他病院と比較すると短く、急性心筋梗塞の患者の治療においてdoor-to-balloon timeを短縮することに繋がり、患者の予後に深く影響すると思います。そのために、救急外来看護師が、ホットラインでの事前情報入手～心カテ室入室までの、救急外来看護師による良質な看護実践や時間短縮に関する思考過程について言語化されたプロセスが必要だと考え、救急外来で勤務されている看護師の皆様へインタビューをさせていただきたいと思います。お忙しいところ大変恐縮ではございますが、このインタビュー調査にご協力をいただけますようお願い申し上げます。

## 研究目的

ホットラインを受けてからの救急外来看護師の思考過程や行動が、心カテ室入室までの時間短縮にどのような影響を与えているのかを明らかにすることを目的としています。今後、救急外来において心カテ室入室までの介助に携わる看護師が、的確に・迅速に対応することができるよう、教育に役立たせ、さらに心カテ室入室までの時間短縮を目標とし、患者にとって有益な看護を提供できると考えています。

## 研究対象者

インタビュー調査に協力していただきたい方は、救急外来に勤務する看護師の皆様16名です。

## 研究方法

インタビューでは、ホットラインでの事前情報を受けてから心カテ室入室までの看護実践と思考過程についてお聞きします。インタビューは半構造化面接法を用いて、業務時間内に20分程度、個室で行います。研究への参加の同意が得られた方には、研究者が日程調整を行い、インタビュー調査をさせていただきます。許可を得られた場合のみ、調査内容を録音させていただきますと思います。

## 研究期間

この調査は、2024年1月～2月で実施します。

## 倫理的配慮

本研究への協力は、研究協力者の自由意思に基づくものであり、同意しない場合もいかなる不利益を被ることはありません。本研究はインタビューを予定しており、ICレコーダーを使用します。研究期間中は、研究に使用するデータは研究者が厳重に管理し、録音内容は一定期間保存の後、速やかに削除します。ま

た、研究終了後文書で残したデータに関しても一定期間保存の後、速やかにシュレッダーにて破棄します、インタビューで得た情報は、外部へ漏らさないこと、個人情報・プライバシーを徹底致します。本研究開始時に研究の趣旨を文書と口頭で説明しますので、同意書の記入をお願いいたします。研究に同意した後でも、いつでも同意を撤回することができます。その際は、同意書撤回所を用います。同意を撤回したい場合は研究者へご連絡ください。また、研究への参加・不参加・撤回、いずれの場合でも個人への業績への影響は全くありません。

## プライバシー保護に関して

研究協力者ご自身のプライバシーに関することはすべて匿名とし、秘密を厳守します。個人を識別する情報は一切使用しません。

## 研究結果の公表について

研究結果は論文としてまとめ、看護関連学会で発表させていただき予定です。また、研究のデータ及び結果は研究目的以外には使用することはありません。

お忙しいところ、皆様の貴重な時間に、研究にご協力いただくことは大変恐縮ではありますが、何卒研究の趣旨をご理解いただき、ご協力を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。この研究についてのご質問・ご意見がございましたら、研究責任者へいつでもお尋ねください。

## 研究責任者

熊本医療センター 救命救急センター看護師 東坂悠紀

## 共同研究者

救命救急センター病棟師長 深川千晶 渡辺純也 村山公栄 今村祐太

## 問い合わせ先

救命救急センター病棟師長 深川千晶